

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2001-514951(P2001-514951A)
【公表日】平成 13 年 9 月 18 日 (2001.9.18)
【出願番号】特願 2000-509654(P2000-509654)
【国際特許分類第 7 版】
B 6 8 C 3/02
【F I】
B 6 8 C 3/02

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 9】

図 2 に示した例では、自由旋廻軸が、二つの接続部 3 2 の二つの旋廻軸の間に位置する。各接続部 3 0 は、このように全部で三つの旋廻軸を持つ。安全用スターラップの二つの接続部 3 0 にある全てのヒンジピン 4 0 は互いに平行である。ヒンジピン間の間隔は同一で、その数値は例えば 1 0 乃至 1 5 mm、より正確には 1 2 . 5 mm である。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 0】

結合部材 4 2 は基本的には 8 の字形をしている。それらには二つの隣接するヒンジピン 4 0 それぞれのための穴がある。二つの隣接するヒンジピン 4 0 は二枚の平行な結合部材 4 2 によって互いに連結されていて、二組の結合部材 4 2 が同一のヒンジピン 4 0 を共有している。即ち、自由旋廻軸の場合、一組の結合部材 4 2 は、他の組の部材に対し、特に図 1 と図 2 に見られるように例えば内側または外側にずれるので、結合部材 4 2 の対同志の間隔が、同一の組と異なる組がある。